

オイル交換時の注意

●オイルは規定量より多くても少なくても、エンジンに悪影響を与えます。
入れ過ぎると――

各回転、摺動部の抵抗増大による出力低下、運転中の油温が上昇し、オイルの劣化を早めます。
湿式多板クラッチでは、チェンジフイーリングに悪影響を与える要因となります。

少なすぎると――

回転部、摺動部へのオイル供給量が少なくなり、エンジンの摩擦、焼き付き等の要因となります。

●ホンダウルトラオイルは、製造段階で添加剤がバランス良く配合されたオイルです。さらに市販の添加剤を注入すると、配合バランスがくずれ、油性が変化し潤滑性能に大きく影響します。